

あなたが差別・偏見の心をもたないために

学校に少しずつ通えるようになり、友だちと会えて楽しい時間が増えていると思います。ですが、友だちの話を聞いたりテレビやインターネットの情報を見たりして、不安に感じたり「違うのではないか」と感じたりしたことがあるのではないのでしょうか。どうすればいいか一緒に考えましょう。

◎こんな思い、あなたの心の中にはありませんか？



Q. 学校で友だちが咳をしたら「コロナだ！」と大声で言っている人がいました。言ってはいけないと思うのですが、どうしたらいいですか？



A. 咳をしたからと言ってそれだけで新型コロナウイルスに感染しているとは言えません。その言葉を言われた友だちはきっと悲しかったと思います。勝手な判断で騒ぐのはやめましょう。



Q. 友だちの親が勤めている病院に、ウイルスに感染している人が入院しているんだって。その友だちに近づかないほうがいいよと言う人がいるけど本当かな？



A. お医者さん、看護師さん等は、患者さんの命を救うために一生懸命働いています。感染しないように予防し健康管理もしています。頑張っている人、その家族を偏見の目で見ることなく、そういう方々を応援し、自分ができるところをしっかりとやっていくことが大切です。



Q. ネットを見ていたら、〇〇商店に感染した人が行っているという書き込みがありました。みんなに知らせた方がいいですよね？



A. その情報は本当ですか？ その書き込みがデマだったら、あなたはうその情報を知らせたことになります。また、知らせた情報によって悲しむ人がいたら、あなたは人を傷つけてしまうことになります。自分が発信したことによってどうなるのかをよく考えてみましょう。

差別・偏見の心をもたないためには、正しい情報をもとに考えることが大切です。うわさ話やデマなどに振り回されず、落ち着いて考えましょう。そして、わからないことがあったら、友だちやお家の方、学校の先生など近くの大人に相談して、どう行動するのがよいか、一緒に考えていきましょう。

もしも、身近に話す人がいないときは、相談窓口も利用できます。(24時間 フリーダイヤル)

学校生活相談センター なやみいおう 電話 0120-0-78310 メール gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp